



平成 21 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 石光商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 森本 茂
(JASDAQ・コード: 2750)
問合せ先 経営企画室長 前田 繁幸
(電話番号 078-861-7828)

平成 21 年 3 月期 通期 (連結・個別) 業績予想との差異および役員報酬減額に関するお知らせ

I. 平成21年3月期 通期 (連結・個別) 業績予想との差異に関するお知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想について、平成21年2月9日に発表いたしました通期業績予想との差異を下記のとおりお知らせいたします。

1. 平成21年3月期通期業績予想との差異 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	36,164	△123	△313	△217
今回修正予想(B)	36,009	△280	△428	△252
増減額(B-A)	△154	△157	△114	△35
増減率	△0.4%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	36,657	△3	△63	△155

(2) 個別

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	35,674	△198	△351	△236
今回修正予想(B)	35,538	△326	△425	△244
増減額(B-A)	△135	△127	△73	△7
増減率	△0.4%	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	36,328	△86	△171	△261

2. 業績予想との差異の理由

当第4四半期につきまして、米国の金融危機に端を発した、企業収益や雇用情勢等の悪化は当社を取り巻く経営環境にも予想以上に影響を与えました。

このような状況の中、当社個別業績につきましては、売上高は、紅茶原料および紅茶製品が順調に推移し概ね前回予想どおりとなりましたが、業務用コーヒー生豆の受注量が減少しましたこと、また、食品においても、当社の主要マーケットである外食産業の落ち込みにより前回予想を下回ることになりました。その結果、35,538百万円となる見込みであります。

営業損益につきましては、上記理由に加え、国内株安・円高により退職年金資産の時価下落に伴う評価損30百万円を退職給付費用として、また金銭債権の回収可能性を一部見直し49百万円を貸倒引当金繰入額として販売費及び一般管理費に追加計上しましたことにより326百万円の損失となる見込みであります。

経常損益につきましては、想定レートを上回る円安の進行により外貨建資産の為替差損が減少し、また保険積立金を解約しましたが、上記理由により425百万円の損失となる見込みであります。

当期純損益につきましては、法人税等調整額の見直しを行うことにより244百万円の損失となる見込みであります。

連結業績につきましては、個別業績の差異を主要因とするものでありますが、連結子会社においても業績が低迷したことにより上記のとおりとなる見込みであります。

なお、配当につきましては、平成21年2月9日に発表しております「平成21年3月期（連結・個別）業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、1株当たり2円の普通配当を実施する予定であります。

II. 役員報酬減額に関するお知らせ

平成20年11月11日付の「平成21年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異および平成21年3月期通期（連結・個別）業績予想の修正ならびに役員報酬減額に関するお知らせ」において発表いたしましたとおり、平成20年10月より平成21年3月まで全取締役の報酬を減額しておりますが、「I. 平成21年3月期通期（連結・個別）業績予想との差異に関するお知らせ」において、通期業績予想が前回予想よりも下回ることを真摯に受け止め、経営責任を明確化させるため、役員報酬を減額することにいたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

1. 役員報酬減額の内容

代表取締役	：	月額報酬の50%を減額
常務取締役	：	月額報酬の20%を減額
取締役	：	月額報酬の10%を減額

2. 対象期間

平成21年4月より平成21年6月まで

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上